

トーホクのチンゲンサイ栽培方法

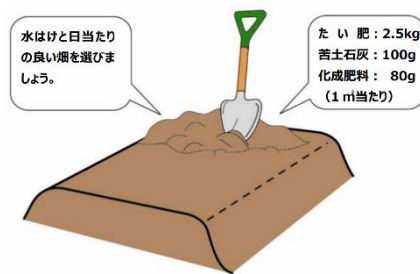
発芽適温：15～30℃ 生育適温：15～30℃
土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；1～2年あける

1. 作物特性

チンゲンサイは中国野菜と呼ばれる品目の中では最も普及したアブラナ科の野菜です。肉厚の葉柄が特長な歯ざわりで、クセのない食味から炒め物やスープなどで食べられています。暑さや病気にも比較的強い葉物野菜で、栽培は容易です。プランターを使えば年間通して手軽に栽培できますが、秋まきでは9月中旬～10月上旬のタネまき、春まきでは4月上旬～5月上旬のタネまきが最適です。生育期間は短く、夏の高温期では30日前後、春や秋の栽培では40～50日程度で収穫できます。

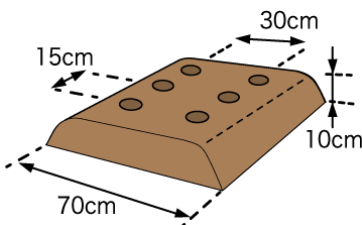
2. 畑の準備

ハクサイやキャベツなど他のアブラナ科野菜との連作は避けて畑を選びましょう。うねは水が溜まらないように平らに整えます。



3. タネまき

尻張りのよい大株に仕立てる場合は条間30cm、株間15cm程度に点まきます。



1カ所に4～5粒タネをまき、まいた後は軽く手で鎮圧してタネが流れないように、また土を固めない程度に水をやります。大株にしない場合はすじまきします。ポットで苗を作って植えつけても良いです。

4. 栽培管理

発芽したら順次間引きして、本葉3枚頃までに1本立ちにします。間引いた菜もおいしく食べる事ができます。



本葉3枚以降に間引く場合は、残す株の根を傷めないよう根元をハサミ等で切って取り除きます。追肥は必要ありません。



最後の間引き時に条間を軽く耕して株元に土寄せします。アオムシなど害虫防除に防虫ネットをトンネル状にかけておくと効果があります。また農薬などを適切に使用してその他の病害虫を予防しましょう。

5. 収穫

草丈20cm～25cm頃、尻が張ってくる頃が収穫の目安となります。過熟になる前に収穫し、とり遅れないようにしましょう。



収穫は株元にハサミか包丁を差込み、根を切るようにして収穫します。冬の低温で花芽ができて翌年の春に花を咲かせます。



もし大きくなってとり遅れたらそのまましておくと春にトウが上がります。蕾を茎と一緒に摘み取ればおいしく食べられます。

6. プランター栽培

プランターで栽培する場合、タネを条間15cm位にすじまきにして間引き株を利用しながら育てます。大株にする場合は株間を約10cmに間引きして、1カ所1株にします。



栽培例	まく時期												収穫時期												
地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
冷涼地				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
中間地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
暖地		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●